

<教育利用> ⑨ 「みんなで生成AIコース」を活用した授業の実践事例

みんなで生成AIコース

みんなで生成AIコースとは

「みんなで生成AIコース」は、学校の教室で生成AIを取り入れた授業を行うことを想定して、先生が見守る環境で生徒が生成AIの動きを学ぶことができるサービスです。

現在、プロトタイプ版の実証実験を行っており、実際の授業に取り入れて仮説検証・改善に取り組んでいます。

本コースは&box Classroomプロジェクトの協力により開発されました。

令和6年(2024年)1月31日

5・6学年保護者の皆様

保護者への説明

札幌市立発寒東小学校
校長 鳥丸 俊郎

生成型AIの利用について

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、令和5年7月4日に文部科学省から「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」が公表されました。これを受けて、本校においても5・6学年の一部の活動で、生成型AIを活用した教育活動を、以下の通り行うことといたしました。

- 今年度の利用は、特定非営利法人「みんなのコード」が提供する「みんなで生成AIコース」の「生成AI100校プロジェクト」に参加し、利用します。 <https://code.or.jp/news/20231201/>
- 詳細は以下の通りで、学校現場で安心して利用できるものになっています。
 - ・Microsoft Azure OpenAI の API を利用しているため、対話内容が AI の学習データに利用されることはありません。また、教師が「みんなで生成 AI コース」の中でされた児童の対話内容を確認することも可能です。
 - ・児童が「みんなで生成 AI コース」へアクセスする時間を授業時間中のみ等に制限することができます。
 - ・利用に必要な情報は、教師の Google アカウントのみです。児童の個人情報を登録する必要はありません。

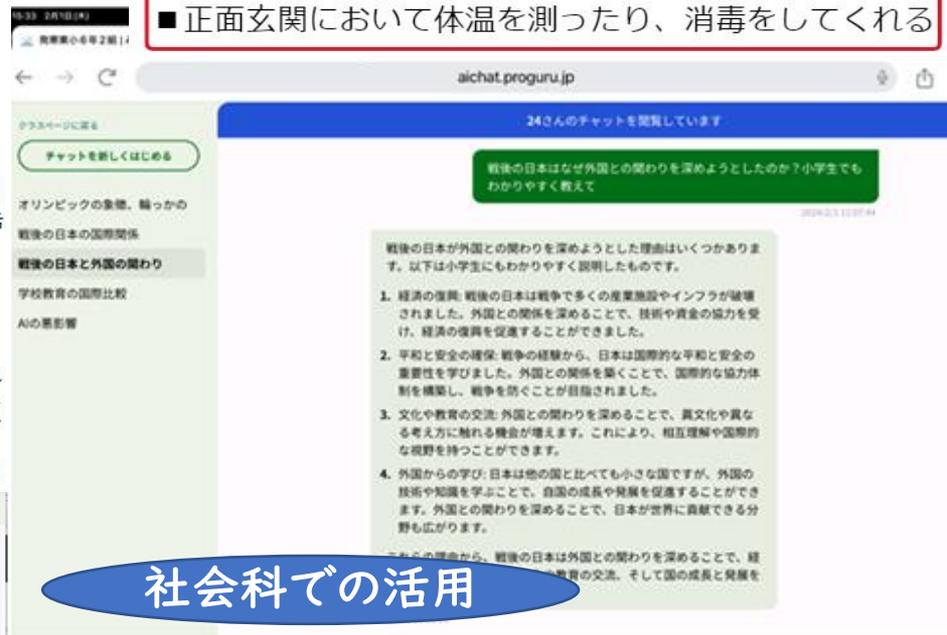


AIを学校で活用する方法を募集します

- (条件)
- ・授業でも、その他の場面でも活用したい。
 - ・ネットで調べてよい実践を書きたい。
 - ・なるべく具体的に書いてください。

6年生の発想

- 6年生にしか役に立たないけれど、誰がどの職業が向いているのか分析
- 自分にあった勉強法を分析
- 保健室の先生の代わりにやAIに相談
- 授業の細かいところまで解説
- 変な文じゃないか、誤字脱字を教えてくれる
- 正面玄関において体温を測ったり、消毒をしてくれる



社会科での活用